

# 大盛況！みずき野ミニ寺子屋

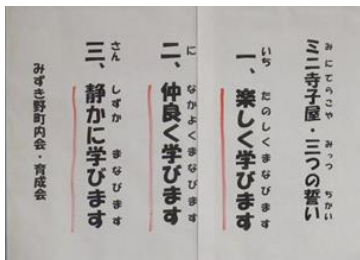
楽しい夏休みが始まって一週間。でも、子供たちにとっても保護者の方々にとってもちょっと頭が痛いのが夏休みの宿題ではないでしょうか。3回目となる「みずき野寺子屋」が今年も7月25日(月)～27日(水)に開講しました。各日ともに50名前後、3日間で延べ150名近い子供たちが参加し、夏休みの課題である絵画、書道、ワークの3つに分かれて学習しました。みずき野子ども育成会役員、町内会役員、祖父母世代のボランティアの方々などが先生として子供たちにアドバイス。また、今回は絵画の指導に強力な助っ人が登場です。愛宕中学校美術部の生徒さん3名と顧問の先生のご協力もいただきました。まさに、『三世代共存の街づくり』を理念に掲げるみずき野ならではの活動ですね。子供たちの真剣な表情と笑顔が印象的でした。



「寺子屋は皆さんが楽しく夏休みを過ごせるようにお手伝いします。子ども育成会のお母さんたちが始めた取組みを、町内会としても応援します。3つの誓いを守ってしっかり学習しましょう」



西村塾長



寺子屋先生方の紹介。今年には愛宕中学校美術部の先生と生徒さんも先生として参加。

## ● 絵画 ●



絵画の課題はポスター作り。環境、交通安全などのテーマの中から、それぞれの思いを絵とスローガンで表現していきます。



なかなかアイデアがまとまらない様子の子供には、美術部員の中学生が相談にのってくれました。頼もしい助っ人ですね。



## ● 書道 ●

指導の先生に書いていただいたお手本を見ながら、何枚も何枚も練習。だんだん文字のバランスがよくなってきました。



## ● ワーク ●

ワークは国語、算数、社会など様々な教科の問題集を解いていく課題。黙々と取り組む子供たち。



## ● スタッフの皆さん ●



子ども育成会の皆さん、企画・準備・運営等々ご苦労様でした。

愛宕中学校の皆さん、町内会役員、ボランティアの皆さんご苦労様でした。世代を超えて、地域のネットワークがどんどん広がっていますね。



連日 60 名を超える参加者で、会場のみずき野集会所はすべての部屋がフル稼働でした。

(広報委員 北川道子)